

令和7年度 農作物病害虫発生予察11月月報

令和7年（2025年）12月1日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
11.1	13.7	14.2	△ 0.5	20.1	20.2	△ 0.1	8.7	9.2	△ 0.5
11.2	14.9	13.5	1.4	20.8	19.3	1.5	9.3	8.6	0.7
11.3	12.2	12.5	△ 0.3	19.2	18.1	1.1	7.0	7.7	△ 0.7
11.4	10.9	11.2	△ 0.3	16.9	16.8	0.1	6.4	6.4	0.0
11.5	10.6	10.2	0.4	18.1	15.8	2.3	5.4	5.5	△ 0.1
11.6	10.0	9.4	0.6	16.9	15.0	1.9	4.1	4.7	△ 0.6
平均・計	12.1	11.8	0.2	18.7	17.5	1.1	6.8	7.0	△ 0.2
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
11.1	4.0	12.7	△ 8.7	27.9	26.8	1.1			
11.2	19.5	14.1	5.4	34.1	25.3	8.8			
11.3	0.0	14.5	△ 14.5	21.3	23.6	△ 2.3			
11.4	0.0	13.9	△ 13.9	27.5	22.9	4.6			
11.5	5.5	13.2	△ 7.7	28.8	22.4	6.4			
11.6	1.0	13.5	△ 12.5	30.4	21.8	8.6			
平均・計	30.0	81.9	△ 51.9	170.0	142.8	27.2			

II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植後の降雨の影響により、一部ほ場では根傷みによる生育停滞が見られたが、生育は回復しつつある。収穫開始時期は例年よりやや早く、11月上旬から開始されており、今後12月にかけて出荷量が増加する見込み。
- (2) イチゴ : 「かおり野」については、昨年に比べて花芽分化時期が早く、11月上旬頃から出荷が始まっている。生育は順調に進んでおり、12月には出荷量が増加する見込み。

III 病害虫の発生状況

1 野菜

2025年11月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ (調査は場数:12)	中旬の巡回調査では、発生は場率33.3% (平年0.8%)、発病株率3.8% (平年0.1%)、発病度1.5 (平年0.0) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率16.7% (平年1.9%)、発病株率2.2% (平年0.2%)、発病度0.5 (平年0.0) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 54
黒腐病			
菌核病	中旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年2.6%)、発病株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は場率16.7% (平年6.1%)、発病株率0.3% (平年0.3%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 27
べと病	中旬の巡回調査では発生は場率0% (平年3.3%)、発病株率0% (平年1.0%)、発病度0 (平年0.3) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年4.4%)、発病株率0% (平年1.5%)、発病度0 (平年0.4) で平年並みであった。	—	—
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
コナガ	中旬の巡回調査では、発生は場率33.3% (平年24.3%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年0.2頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率41.7% (平年25.9%)、10株当たり虫数0.8頭 (平年0.4頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 67
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生は場率83.3% (平年36.7%)、寄生株率21.3% (平年3.6%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生は場率66.7% (平年18.0%)、寄生株率12.3% (平年1.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 54 中 54 少 27 計 135
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年11.7%)、10株あたり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年に比べ少なかつた。 下旬の巡回調査では、発生は場率8.3% (平年14.0%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少 13

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年9.2%)、寄生株率0% (平年0.3%)で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.0%)、寄生株率0% (平年0.3%)で平年に比べ少なかった。	—	—
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年17.5%)、寄生株率3.5% (平年1.9%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.3% (平年18.2%)、寄生株率2.8% (平年1.9%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 13 中 13 少 67 計 93
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年19.2%)、寄生株率1.3% (平年0.7%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年13.7%)、寄生株率0.5% (平年0.3%)で平年並みであった。	県内全域	中 13 少 40 計 53
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年15.9%)、寄生株率3.2% (平年0.8%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年25.2%)、寄生株率3.5% (平年1.5%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 54 少 54 計 108
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年31.7%)、寄生株率1.5% (平年2.7%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年33.4%)、寄生株率2.2% (平年3.0%)で平年並みであった。 主要種はモモアカアブラムシであった。	県内全域	少 54
イチゴ (調査ほ場数:20、果実 調査ほ場数:9) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.5%)、発病株率0% (平年2.8%)、発病葉率0% (平年0.8%)、発病果率0% (平年0.3%)で平年に比べ少なかった。	—	—
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.8%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病果率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年2.0%)、発病株率0.3% (平年0.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 19
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.0%)、発病株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)		
イチゴ 萎黄病	下旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年6.0%)、発病株率0% (平年0.2%)で平年並みであった。	—	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生は場率45.0% (平年28.4%)、寄生株率14.6% (平年5.5%)で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	甚	10	
			中	5	
			少	29	
			計	44	
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生は場率30.0% (平年24.0%)、寄生株率6.9% (平年7.8%)で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	多	5	
			少	24	
			計	29	
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生は場率35.0% (平年10.5%)、寄生株率1.0% (平年0.3%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少	34	
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年1.0%)、寄生株率0% (平年0.0%)で平年並みであった。	—	—	—	—
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生は場率0% (平年16.9%)、寄生株率0% (平年1.9%)で平年に比べ少なかった。	—	—	—	—
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生は場率10.0% (平年13.1%)、寄生花率1.7% (平年0.7%)で平年並みであった。 主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚	5	
			中	5	
			計	10	

2 野菜類・花き類

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																					
ハスモンヨトウ	<p>11月のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は4,510頭 (前年12,173頭) であった。</p> <p>10月21日～11月20日の県内他地点のフェロモントラップの誘殺数は、下記のとおりであった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">フェロモントラップでの誘殺数 (頭)</th> </tr> <tr> <th>地点</th><th>本年</th><th>平年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td><td>1,948</td><td>2,323</td></tr> <tr> <td>山口市阿東</td><td>157</td><td>329</td></tr> <tr> <td>萩市明木</td><td>33</td><td>200</td></tr> <tr> <td>下関市清末</td><td>1,615</td><td>1,857</td></tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td><td>577</td><td>1,440</td></tr> </tbody> </table> <p>※10月21日～11月20日の合計</p>	フェロモントラップでの誘殺数 (頭)			地点	本年	平年	周南市熊毛	1,948	2,323	山口市阿東	157	329	萩市明木	33	200	下関市清末	1,615	1,857	柳井市伊陸	577	1,440	県内全域	—
フェロモントラップでの誘殺数 (頭)																								
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	1,948	2,323																						
山口市阿東	157	329																						
萩市明木	33	200																						
下関市清末	1,615	1,857																						
柳井市伊陸	577	1,440																						
オオタバコガ	11月のフェロモントラップ (防府市牟礼) の誘殺数は37頭 (前年160頭) であった。	県内全域	—																					

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
シロイチモジヨトウ	11月のフェロモントラップ（防府市牟礼）の誘殺数は24頭（前年23頭）であった。	県内全域	—
コナガ	11月のフェロモントラップ（防府市牟礼）の誘殺数は8頭（前年5頭）であった。	県内全域	—
アブラムシ類	11月の黄色水盤（防府市牟礼）の誘殺数は581頭（前年83頭）であった。	県内全域	—

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター（山口県病害虫防除所）

TEL (0835) 28-1211(代)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp